

会 議 議 事 録

会 議 名	令和5年度 学校関係者評価委員会		
開 催 日 時	令和5年5月21日（日） 10:00～12:00		
会 場	東京医薬看護専門学校 第4校舎 301教室		
参 加 者	委員等	5人	(参加者名) 卒業生代表：同愛会病院 加藤 亮 様 業界代表：柏戸病院 古川 哲也 様 ：粘土科学研究所 手塚 平 様 ：コクミン 嶋本 智明 様 地域関係者：葛西仲町町会 鈴木 信良 様 学校法人 滋慶学園：評議員 小川 昭久 東京医薬看護専門学校：学校長 須田 英明 副校長 石橋 佳子 事務局長 篠田 美和 教務部長 阿部 健 教務部長 大山 遥 キャリアセンター長 福田 昌彦 学生サービスセンター 鈴木 保夫 (欠席) 保護者代表1名、業界代表1名、高等学校関係者1名
	事務局	8人	
会 議 録	<p>(1) 学校長挨拶 (須田)</p> <p>委員会の皆様におかれましては、日曜日にも関わらず、またご多用の中を会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。2020年1月15日の夜に初めて我が国で新型コロナウイルス感染症であるという患者さんが見出されてから、すでに三年半近くとなっておりますけれども、ようやく下火となつてまいりました。感染症法上の位置づけも2類から5類相当になりましたので、今後は緊急事態宣言が出される可能性はまず無いといってもよろしいかと思います。反面、我が国では引き続き静かな緊急事態が続いております。急速に進んでおります人口減少の問題でございます。</p> <p>先月、国立社会保障人口問題研究所が発表しました。推計中位推計ですけれども、これによりますと2070年における我が国の総人口は8700万人まで減少するというのでございますので、ピーク時と比べて4100万人の減少となります。あまりにも数字が大きすぎてなかなか実感がかめませんが、例えて申し上げれば、現在の我が国の、北海道から人がいなくなる。東京都にも人が見えない。大阪府も人が消える。そして福岡県の人もいなくなる、という、大変な時代に向かって進んでおります。今の学生たちはそのような大変難しい時代に生き残っていかなければなりませんので、難しい時代を生き抜く力を、しっかりと身につけていただきたいと思います。と思っております。</p>		

本日はそうした時代背景を念頭においていただき、従来より教育理念を立てておりました実学教育・人間教育・国際教育がしっかりと担保されている、あるいはまた4つの信頼、卒業生を含めた卒業生保護者の方々からの信頼、そして高等学校からの信頼、さらに企業業界からの信頼、地域社会からの信頼がしっかり確保されているかどうかも含めまして、ご評価を願えればと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。
本日の会議出席誠にありがとうございます。

(2) 委員自己紹介 (各自)

上記出席者の自己紹介を実施

(3) 学校関係者評価委員会の趣旨説明 (篠田)

専門学校は学校制度の中、専修学校専門課程に該当します。専門学校数は現在2,754校、その中でより実践的・先進的な過程として認定されている職業実践専門課程は1,083校になります。

職業実践専門課程には幾つかの条件があり、1. 学科ごとに教育課程編成委員会を設置しカリキュラムを構成、2. 企業等と連携して演習・実習等の授業の実施、3. 企業等と連携して教員研修の実施、4. 企業等が参画して学校評価の実施、5. それらを情報公開することとなっています。

本校では15学科の内、申請可能な対象学科はすべて認定されています。

本日の学校関係者評価委員の目的ですが、昨年度2022年の評価を本校で自己点検自己評価をさせていただき、事前に皆様に送付させていただきました自己点検自己評価に対して、ご評価いただき、客観性を持ち、今後の学校運営の改善のための広い視野のもと、ご助言をいただきたいと思ひます。

自己点検自己評価の項目は10項目あります。

1. 教育理念・目的・育成人材像、2. 学校運営、3. 教育活動、4. 教育成果、
5. 学生支援、6. 教育環境、7. 学生の募集と受け入れ、8. 財務、
9. 法令などの遵守、10. 社会貢献

また、2022年度の自己評価と併せて2022年度運営の報告をさせていただきたいと思ひます。

(4) 評価

1. 教育理念・目的・育成人材像、2. 学校運営 (篠田)

1-1-1

お手元の評価表につきましては、自己点検自己評価を抜粋しているものです。教育理念ですが、滋慶学園は現在80校あり、本校はその中の1校です。学園の「建学の理念」、「4つの信頼」などをベースにして学園全体として強い理念や教育方針に基づき、「教育理念・目的・育成人材像」「学校運営」については、昨年に引き続き、概ねできていると思ひます。

1-1-2

本日の学校関係者評価委員会、また教育課程編成委員会などを開催し、外部から

のご意見を頂きながら運営を行っています。また、実習指導者会議などもこれにあたります。

1-1-3, 4

2022年度に看護学科を新校舎にて開講しました。看護学科の運営を含めまして医療の総合学校として教育理念、学校運営の基盤があるのでしっかりしていると評価しています。

2. 学校運営（篠田）

2022年度の学校運営は、12職種15学科にて運営をしております。ひとつの学校で12職種を展開している稀有な学校であり、東京医薬看護専門学校ならではの教育を展開していきたいと考えています。

今後のテーマとしては、「個別最適化」と「チーム医療」を掲げています。

概ね、出来ている「3」と評価させていただきました。

3. 教育活動（大山）

3-9-1, 2

教育課程編成委員会を年2回実施。任期は2年間です。

3-9-3

キャリア教育のための工夫

キャリアサポートハンドブックを刷新しながら活用しています。

3-9-4

授業評価

授業アンケートは、前期・後期に各1回実施しています。

講師へ面談を通してフィードバック（声の大きさ・授業資料の見やすさ・オンライン授業の状況など）し、授業改善につなげています。

3-10-1

成績評価・修了基準

学則、学則施行細則を定めて運用しています。昨年度より Teams 上にアップし、オンライン上で学生がいつでも確認できる状況を整えています。

3-10-2

受賞状況・研究業績

例年と同じく、卒業式の時に表彰しています。

3-10-1, 2, 3

資格要件は、改善傾向にあります。教員充足が全学科ではないので「2」としました。

4. 教育成果（福田）
4-13-1
<p>昨年の評価 1, 6. 課題をもって取り組みました。自己評価「2」です。</p>
2022 年度の対策
<p>1、キャリア教育の充実（就職講座・学内説明会を 90%対面で実施。 2、個別就職支援の強化（ZOOM、Microsoft Teams） 面接指導、履歴書添削をオンライン・対面組み合わせで実施。 就職指導をオンデマンド化し活用しています。</p>
4-13-1
卒業生就職率 84%（前年比+2%）
求職者就職率 94%（前年比+3%）
専門就職率 98%（前年比+3%）
2022 年度結果と課題
年度内内定率 2022 年度 94%、2021 年度 91% 3%向上
非国家資格系学科 年度内内定 100%
国家資格系学科 年度内内定 91% 国家資格系が課題。
2023 年度の対策
<p>1. キャリア授業の強化 2. 個別最適化された就職支援強化 Microsoft365 の活用⇒ 情報発信・情報回収・面接指導・履歴書添削 学生のタイミングにあった支援強化</p>
4-14-1 資格取得率の向上
昨年度の国家資格状況報告。
不合格者については、合格まで引き続き支援を継続しています。
4-15-1 社会的な活躍・評価
卒業生の学科発表 多数ありました。トピックとしては、全国レベルの学会で座長を務める卒業生が出てきています。
5 学生支援（福田）
就職に対する支援ですが、対面・オンラインを併用した説明会やメイク講座の実施をしています。就職支援ツールのブラッシュアップや就職指導をオンデマンド化、求人検索システムの活用を進めています。
5-17-1 退学率低減の為の取り組み
2022 年度 5.2%（前年度 4.8%）
学生像に併せ、学部毎に対策しましたが、学びの形態を変えた学科や 1 年生を中心に数字が悪化しました。

5-18-1.2 留学生支援・学生支援

コロナ禍で減少。2022年度6名。

就職に向けては、N1が必要。学園内の資源を活用し支援しています。

学園内にSSC（カウンセラー）を配置している。第4校舎に週2回カウンセリンググループを開設しています。

5-19-1 経済的側面に対する支援体制（鈴木）

学費納入は、基本的に一括納入です。しかし、困難者に対しては分納納付を実施しています。実施に際しては、保護者を交えて学費面談を行っています。

学費回収は、3年連続100%回収です。

5-19-2.3 健康管理・学生寮・生活環境支援

健康診断受診率 2022年度 100%。2次検診含め100%を目指しています。

歯科・内科クリニックを設置しています。校舎メンテナンス・学生寮をグループ企業が運営しています。

5-19-4 課外活用支援

課題はありますが、学生プレスを組織化しオープンキャンパスの運営補助を行ってもらっています。2023年度は、葛西地域で学校の枠を超えてサークルを実施していきたいと考えています。

5-20-1 保護者との連携

入学式：オンライン

卒業式：学生1名に対して保護者1名の参加

保護者会：オンライン・対面含め実施。

保護者面談は、オンラインを活用しタイムリーに対応可能になっています。

5-21-1 卒業生への支援体制

資格不合格者対応 ⇒ 合格までサポート

1. インターネットを介した通信教育

2. 学校での国家試験対策授業

5-21-2 社会人経験者のニーズへの対応

社会人対象 開講学科 3学科

既卒入学者の割合 約30%

6 教育環境

6-22-1 施設・設備の整備

ICT教育に対応するため全教室にIT教卓・プロジェクターを設置し、講義しやすい環境を整えました。また、Microsoft Office365やZOOMなどのオンラインツールを導入しています。

6-23-1 学外実習・インターンシップ

各関係機関と学内外での教育を提携しています。

6-24-1.2 防災体制・安全管理体制

非常に学園として災害対策本部を設置。情報収集・連絡・支援などスケールメリットを活用しています。2022年度の防災訓練もコロナ禍のためクラス単位でオンラインを活用し防災教育を実施しました。

7. 学生の募集と受け入れ（篠田）

7-25-1

全学科 定員とは、なりませんでした。引き続き、定員充足を目指して邁進してまいります。

高等学校に情報を提供しているか。

昨年、委員の方からのご意見を頂き学内プロジェクト化(高校訪問プロジェクト)、また、高校教員向けの説明会・勉強会をオンラインにて実施しています。募集要項に学費の概算を明記し、在学期間の資金計画が立てやすいよう配慮、また、追加徴収ゼロを宣言しています。

8. 財務

8-28-1

学園グループでは、学校現場が教育活動に専念できるように財務管理や経理業務棟は、サポート企業が担っています。

8-29-1.2 情報公開

学校ホームページにて、公開しています。

9. 法令順守

個人情報保護については、教職員全員が「一般社団法人 日本プライバシー認証機構」の個人情報取り扱い従事者資格を取得しています。毎年、ITリテラシー理解度テストを全教職員・講師・学生が実施しています。

10. 社会貢献

日本看護学校施設協議会 主任者講習会 会場協力（第4校舎）

公益財団法人 日本ライフセービング協会

教本撮影・指導実技動画撮影 施設協力（第4校舎）

10-36-2 グローバル人材の育成

2022年度も海外研修（海外渡航）は、中止。

昨年の委員からご指摘いただいた内容を反映し、2022年度は、学園のスケールメリットを活かし、歯科衛生士科3校合同でフィンランと各校を繋いでオンライン上で研修を行いました。

学生ボランティア活動

歯磨き教室など地域活動を展開しています。

学校関係者評価委員の皆様より

(嶋本委員)

遠方からの入学している学生の生活費高騰などの影響はあるのか？

また、学校のフォロー体制はあるのか？

(篠田)

学生個々にフォローをしています。国の就学制度などを活用でき様、情報提供など配慮しています。アルバイトや企業・病院などの制度などあれば学生に伝え、活用していきたいと考えています。

(嶋本委員)

アルバイトの最低賃金は上昇しているし就職後も一人暮らしを継続できる賃金体系に配慮していきたい。他社での取り組みなどあれば情報共有いただき弊社でも検討していきたい。

(鈴木委員)

仲町町会の消防団活動に学生が参加し尽力いただいている。また、11月の防災訓練ではAED訓練の資機材協力や学生さんに指導いただいている大変助かっている。引き続き、ご協力いただきたいと思います。

(加藤委員)

少子高齢化の中、たくさんの学校・学科を設けチャレンジしている。

病院に勤務していて、看護学科に興味がある。国家試験の不合格者に対するフォロー体制を具体的に伺いたい。

(大山)

リスタート制度を活用し、可能な卒業生は登校して授業を受けています。登校が難しい場合は、オンラインを活用しフォローしています。

(手塚委員)

前回参加した評価委員会が分かりづらかったが、今回は分かりやすく良かった。

この学校に限らず、精神的なサポートを必要とするケースが増えるなか対策をしている点は、良いと思った。今後もフォローをお願いしたい。

江戸川楽市への協力ありがとうございます。

(古川委員)

高校生活をコロナ禍で過ごした学生に変化はあるか？

また、対策について教えていただきたい。

(大山)

学生により異なるとは思いますが、既卒生の方がコミュニケーションは取れています。一方、高校新卒の学生の方が、コミュニケーションが苦手な傾向にあり、ようやく、学科間連携なども再開していくなかでコミュニケーション図る機会としたいと考えています。

(古川委員)

学校が退学率を減らしたいのと同様、我々は離職率を下げたい。

学校側の取り組みやアドバイスを頂けると助かる。

もう一点。高等学校の教員に対しての情報提供のお話があったが、高校教員の生徒に与える影響が大きい。現場視点からすると見るとこうなのに・・・と思うこともある。教員がしっかりとアドバイスできていない場面も多いのではないかと。と思うので、良いコミュニケーションを取って生徒（学生）にフィードバックできたらよいと思います。

(5) お礼の挨拶 (石橋)

お忙しい中を、ご参加いただきありがとうございました。看護学科は、医療事務専科と連携講座を行っています。今年度の1年生は、救急救命士科と連携プログラムを実施しました。本校の12職種・15学科のスケールメリットを活かした多職種連携の教育を展開していきたいと思います。

(7) お礼の挨拶 (小川評議員)

委員の皆様、様々なご意見を頂きありがとうございました。私からは、学園を取りまく全体の環境についてお伝えしたいと思います。

一番大きな問題は、少子化です。去年の出生が79万人。1995年が209万人。半数以下になっています。教育業界は就業年限の長期化の傾向にあります。就学時間を確保して教育の質を高め、業界で戸惑わないようにしています。その際、短期・中期のインターンシップなどを希望の業界・企業との順応性を高めたいと考えています。また、経験を持って大学院などに進学を検討している学生も増えてきました。経済的な悪化を抱える学生増え奨学金制度活用する在校生も増加しています。企業様におかれましても名称は様々ではありますが、奨学金の返還手当を制度化していただき、奨学金手当として活用し返還していくことで優秀な人材が集まり、離職率の軽減につながっていると聞いています。

本日いただいたご意見を次年度に向けて反映してまいりたいと思います。

ありがとうございました。

以上